

本学学生の就職先企業に対する学修成果及び教育活動に関するアンケートの結果について

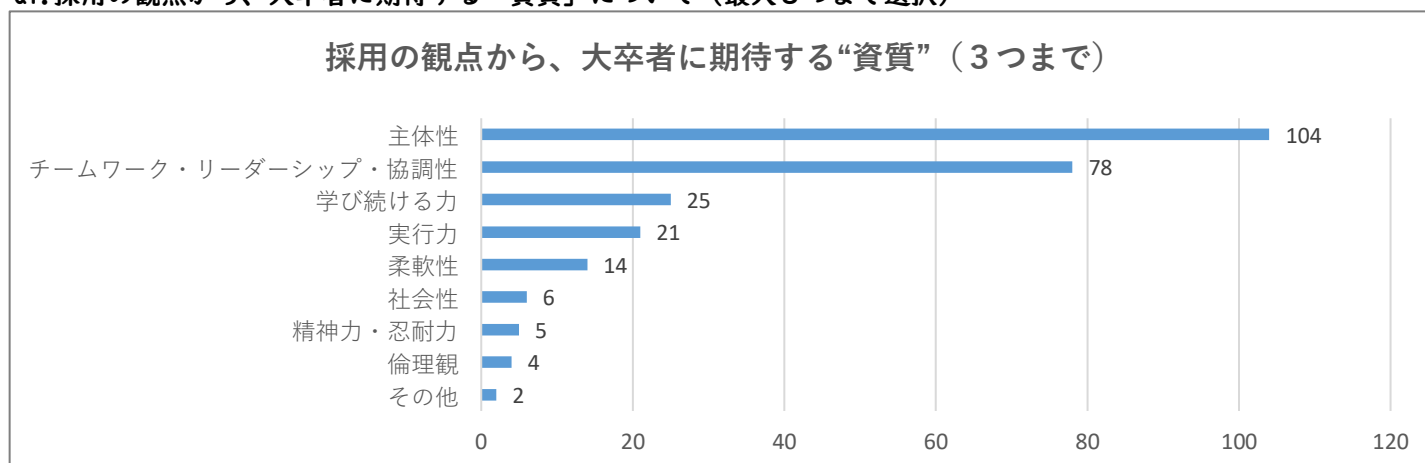
2025年12月16日
 キャリアセンター

■目的・実施対象等

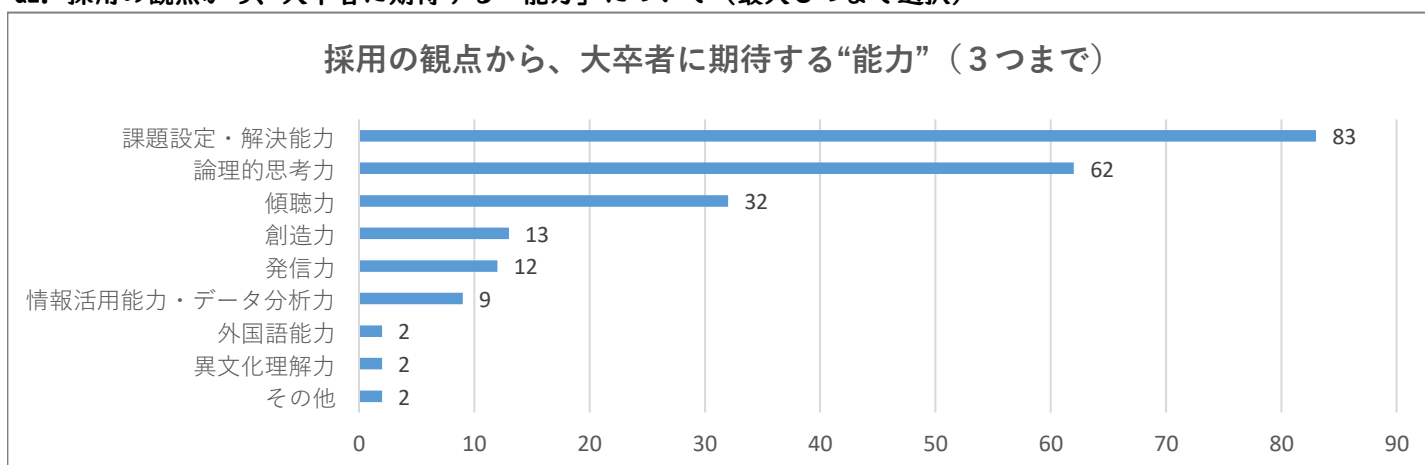
目 的：本学における教育の成果や効果の検証・教育活動改善への活用等を目的として、卒業生の就職先等企業を対象に実施
 対 象 者：「関西大学と企業との情報交換会」＜大阪開催（2025年11月18日（火）、19日（水））および東京開催（2025年12月1日（月）、2日（火））の4日間＞に出席の企業
 出席企業数：154社のうち、回答企業数：148社 ※回答率96.1%
 回答受付日：2025年11月18日（火）～12月8日（月）

■回答内容

Q1.採用の観点から、大卒者に期待する「資質」について（最大3つまで選択）

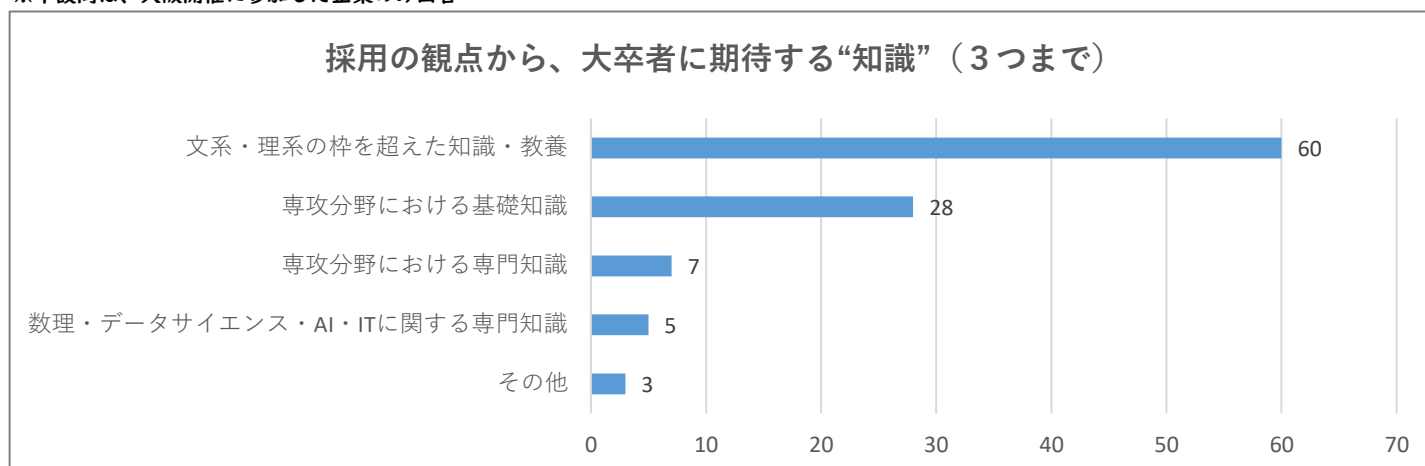


Q2.採用の観点から、大卒者に期待する「能力」について（最大3つまで選択）



Q3.採用の観点から、大卒者に期待する「知識」について（最大3つまで選択）

※本設問は、大阪開催に参加した企業のみ回答



Q4. 採用時の判断基準として有効活用が可能な「学修成果の情報(※)」について(自由記述)

(※)「学修成果の情報」とは、一般的な成績証明書には記載されない「資格」「研究」「語学」の情報など、学位に関する個人別の証書として記載を求めるもの。

*****以下、括弧内の数字は回答企業数*****

- ・TOEICなど、語学の資格(16)
- ・研究内容、学会、論文などの実績とその目的(13)
- ・何かしらの資格を所有していること(7)
- ・デジタル、IT関連スキル(5)
- ・技術系関連の資格、研究(5)
- ・簿記(3)
- ・ビジネスコンテスト参加、プロジェクトの成果や実習経験等(3)
※自身またはチームで仮説検討や実践・検証を繰り返し一定の成果をまとめあげて報告をされた経験など
- ・留学経験(2)
- ・運転免許証(2)
- ・インテリアコーディネーター・福祉住環境コーディネーター・建設関連の資格(1)
- ・課外活動(1)
- ・起業経験(1)
- ・金融関連の資格(1)
- ・食品表示、栄養管理士などの資格(1)
- ・MOS資格(1)

Q5. 「その他大学の教育面全般」について意見や求めること(自由記述)

①キャリア教育の重要性・必要性

- ・低年次からのキャリア教育(複数社回答)
- ・何か一つ、大学生活でやり切ったと思える程に熱中し、突き詰める経験をするよう促してほしい。(勉強、ゼミ、サークル、部活動、アルバイト等)
- ・キャリア教育の充実化と、その状況を知りたい。

②大学への期待

- ・IT・データサイエンス・AIに関するスキルは、専攻内容に関わらず今後基礎教養として重要性が増してくると、弊社としても考えている。(複数社回答)
- ・何がしたいのかを明確にして就職活動に臨んでいただき、納得のいく人生を歩んでほしいため、自己理解を深める授業やサポートをお願いしたい。
- ・外国の大学生(学部生)のハンズオンスキルがとて高いため、御校でも3年次から研究室配属されるなどのような施策を検討してほしい。
- ・自分の考えをすぐに言語化する力を自ら育てていく人が貴学からたくさん生まれるとうれしい。
- ・幅広い業界を知るための視野を持つよう教育いただけますと、将来のミスマッチの防止となるかと考える。
- ・博士課程学生の就職等において、大学側でも安定したポストの創出等も検討してほしい。

③その他

- ・金融知識、ライフプラン、生命保険の考え方(生命保険の必要性ではなく、今後の人生において知っておくべき知識)などゼミ、授業での講義したい。
- ・学生動向理解の為、内定の複数保有や辞退のタイミングに関して、貴学の学生へのご助言方針を知りたい。
- ・人間関係で揉まれる経験をしているか。
- ・表計算ソフトを使用する機会が少ない学生が多いように感じており、少しでも触れる機会があればいいと考える。
- ・「採用の早期化・長期化」が大学生でしか享受できない自由な時間や幅広い人間関係・社会性を育む時間を阻害していると個人的には感じている。一方で企業として優秀な人材の確保は至上命題であるため、その双方を実現する方法を模索するためにもこうした意見交換会は有意義だと感じる。
- ・社会人としての基本的なマナー
- ・考えぬく力